

令和6年7月受付 「子育て支援について」

意見 30代 女性

5月に都内より引っ越して、暮らしていく上でますます箕輪町が好きになっています。

自然が豊かで子育てがしやすく、本当に越してきてよかったと思います。

ただ、子供の英会話についてですが、都内では保育園の段階で取り入れている園もあったのでそういった教育の面が充実すれば嬉しいと思いました。

また、基本的に移住者の場合、両家の親は近くにいないことが多いので、

夜間や土日にシッターサービス等利用した際に一定額の助成が出る仕組みなどあればありがたいと思います。

給食については地産地消に積極的に取り組んでいらっしゃいますが、オーガニックの給食など無添加だったり、そういったものを取り入れると移住したい方も増えると思います。

ご検討よろしく願いいたします。

町長回答

この度はご意見をいただき、ありがとうございます。

箕輪町でのこどもとの生活を、楽しんでくださっていること、本当にうれしく思います。

ご指摘いただきました夜間や土日のシッターサービス利用に伴う助成制度ですが、現状ではなかなか民間のシッターサービスが普及していない状況で、公的なファミリーサポート事業等による子育て支援を利用していただいている方が多いと認識しています。そのため、ファミリーサポート事業につきましては、利用助成制度を設けております。ファミリーサポート事業も夜間等、十分なニーズに対応できるかどうか、マッチング次第となりますが、何かお困りのことがありましたら、個別に相談対応させていただきたく、こども家庭センターへご連絡ください。

箕輪町の保育園では、「やまほいく」や「みのわっこチャレンジ事業」として、自然や戸外での遊びや活動を通してこどもの好奇心や創造力をはぐくむ保育に全園で取り組んでいるところです。英会話については、以前には英語あそびを取り入れたこともありましたが、現在は実施をしておりません。ご意見をいただき今後の保育活動の参考とさせていただきます。

町内7つの町立保育園の給食についてですが、園児の発育・発達に必要な栄養量を満たす給食が提供できるよう、町の栄養士が共通した献立の作成を行っております。

オーガニックや無添加の食材を使用する場合、流通量が少ないために必要量の確保が難しい点や、農薬や化学肥料に頼らずに栽培をしている食材のため購入費用がかかることから、現段階では導入は難しいと考えます。

今後も園児に必要な栄養量を満たすだけでなく、地元産食材を取り入れながら、子どもたちにおいしいと喜んでもらえる献立の作成に取り組んでまいります。